PC98-NXシリーズ

VersaPro/VersaPro J

NEC

はじめにお読みください

タイプVW（オールインワンノート）
タイプVR（オールインワンノート）
（Windows XP Professionalインストールモデル）
（Windows XP Home Editionインストールモデル）

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
梱包箱を開けたら、まず本書の手順通りに操作してください。

本書では、特にことわりのない場合、Windows XP Professional、およびWindows XP Home Editionを総称して、Windows XPと表記します。

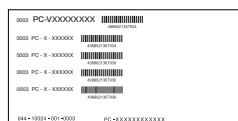
なお本書に記載のイラストはモデルにより多少異なります。

操作の流れ

1 型番を控える

型番を控える

梱包箱のステッカーに記載されているスマートセレクション型番(15桁の型番です)、またはフリーセレクション型番(フレーム型番とコンフィグオプション型番)を、このマニュアルに控えておきます。型番は添付品の確認や、再セットアップをするときに必要になりますので、必ず控えておくようにしてください。

フリーセレクション型番の場合は、型番を控えておかないと、梱包箱をなくした場合に再セットアップに必要な情報が手元に残りません。

左が「スマートセレクション型番」、右が「フリーセレクション型番」のステッカーです。

スマートセレクション型番のステッカーの場合は、「スマートセレクション型番を控える」へ、フリーセレクション型番のステッカーの場合は、p.5「フリーセレクション型番を控える」へ進んでください。

スマートセレクション型番を控える

スマートセレクション型番を控えます。控え終わったら、p.9「2　添付品の確認」へ進んでください。

1. スマートセレクション型番を次の枠に控える

スマートセレクション型番

PC-V❶□❷□□❸□❹□F❺□❻□❼□❽□X

□の意味は次の通りです。

❶モデルの種類を表しています。

✓	型　番	モデル
	Y	VersaPro
	J	VersaPro J

❷CPUのクロック周波数の種類を表しています。

✓	型　番	クロック周波数
	16	1.60GHz
	17	1.73GHz
	18	1.86GHz
	20	2GHz

❸CPUの種類を表しています。

✓	型　番	CPU
	F	インテル® Pentium® M
	M	インテル® Celeron® M

❹本機の型の種類を表しています。

✓	型　番	本機の型
	R	タイプVR（オールインワンノート）
	W	タイプVW（オールインワンノート）

❺インストールOS、選択アプリケーションの種類を表しています。

✓	型　番	インストールOS	選択アプリケーション
	E	Windows XP Professional	なし
	J		Office Personal 2003

❻FDD、CD-ROM系、マウスの種類を表しています。

✓	型番	FDD	CD-ROM系	マウス
	A	FDD	CD-ROM	なし
	G		DVD-ROM	
	J		CD-R/RW with DVD-ROM	
	C		CD-ROM	光センサーUSBマウス
	L		CD-R/RW with DVD-ROM	
	8		DVDスーパーマルチドライブ	

❼合計メモリの容量、通信機能、バッテリパックの種類を表しています。

✓	型　番	合計メモリ	通信機能	バッテリパック
	B	512MB（オンボード256MB+256MB）	LAN	リチウムイオンバッテリ
	C	768MB（オンボード256MB+512MB）		
	E	256MB（オンボード256MB）		ニッケル水素バッテリ
	F	512MB（オンボード256MB+256MB）		
	H	768MB（オンボード256MB+512MB）		

❽ハードディスクの容量、再セットアップ用媒体の種類、セキュリティ機能1を表しています。

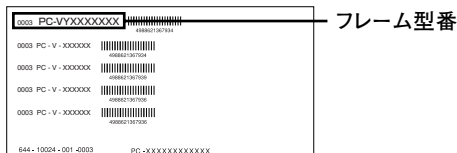
✓	型　番	ハードディスク容量	再セットアップ用媒体	セキュリティ機能1
	5	40GB	再セットアップ用CD-ROM添付	内蔵指紋センサ（ライン型）＆暗証番号ボタン
	6	80GB		
	E	40GB	再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納	
	G	80GB		
	H	40GB		なし
	L	80GB		
	U	40GB	再セットアップ用CD-ROM添付	
	W	80GB		

※上記の❶〜❽の全ての組み合わせが実現できているわけではありません。

以上で型番を控えるは完了です。
次にp.9「2　添付品の確認」へ進んでください。

フリーセレクション型番を控える

フレーム型番とコンフィグオプション型番を控えます。控え終わったら、p.9「2　添付品の確認」へ進んでください。

1. フレーム型番を次のチェック表にチェックする

□の意味は次の通りです。

❶モデルの種類を表しています。

✓	型　番	モデル
	Y	VersaPro
	J	VersaPro J

❷CPUのクロック周波数の種類を表しています。

✓	型　番	クロック周波数
	16	1.60GHz
	17	1.73GHz
	18	1.86GHz
	20	2GHz

❸CPUの種類を表しています。

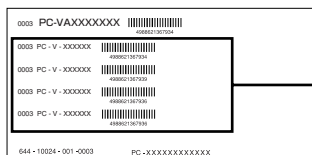
✓	型　番	CPU
	F	インテル® Pentium® M
	M	インテル® Celeron® M

❹本機の型の種類を表しています。

✓	型　番	本機の型
	R	タイプVR（オールインワンノート）
	W	タイプVW（オールインワンノート）

❺インストールOSの種類を表しています。

✓	型　番	インストールOS
	E	Windows XP Professional
	U	Windows XP Home Edition

2. コンフィグオプション型番を次のチェック表にチェックする

次のコンフィグオプション(以降、COPと略します)型番は、どのモデルにも必須でステッカーには必ず記載されている選択必須と選択したモデルやオプションによってステッカーに記載される選択任意があります。また、ステッカーに記載されているCOP型番は順不同になっています。
COP型番に記載されている英数字の意味は次の通りです。

❶PC-N-HD□□□L、PC-J-HD□□□Lはハードディスクの容量を表しています(選択必須)。

✓	型　番	ハードディスクの容量
	R40	40GB
	R80	80GB
	R10	100GB

❷PC-N-NE□□□L、PC-J-NE□□□Lは通信機能を表しています(選択任意)。

✓	型　番	通信機能
	R3L	無線LAN(IEEE802.11a/b/g)

❸PC-N-MB□□□L、PC-J-MB□□□Lは合計メモリの容量を表しています(タイプVW(オールインワンノート)は選択必須、その他は選択任意)。
タイプVR(オールインワンノート)で選択しなかった場合は、256MB(オンボード256MB)になります。

✓	型　番	合計メモリの容量
	N23	2,304MB DDR2 SDRAM(オンボード256MB+1GB×2)
	R12	1,280MB DDR2 SDRAM(オンボード256MB+1GB)
	N12	1,280MB DDR2 SDRAM(オンボード256MB+512MB×2)
	R76	768MB DDR2 SDRAM(オンボード256MB+512MB)
	R51	512MB DDR2 SDRAM(オンボード256MB+256MB)

❹PC-N-CD□□□L、PC-J-CD□□□LはCD-ROM系を表しています(選択必須)。

✓	型　番	CD-ROM系
	RCD	CD-ROM
	RRD	CD-R/RW with DVD-ROM
	RDV	DVD-ROM
	RDS	DVDスーパーマルチドライブ

❺PC-N-AP□□□□、PC-J-AP□□□□は選択アプリケーションの種類を表しています(選択任意)。

✓	型　番	選択アプリケーションの種類
	SSEF	Office Personal 2003
	SPEG	Office Professional Enterprise 2003

❻PC-N-PD□□□□、PC-J-PD□□□□はマウスを表しています(選択任意)。

✓	型　番	マウス
	MULH	光センサーUSBマウス
	MUSJ	USBマウス

❼PC-N-BA□□□L、PC-J-BA□□□Lはバッテリパックを表しています(選択必須)。

✓	型　番	バッテリパック
	RL1	リチウムイオンバッテリ
	RN1	ニッケル水素バッテリ

❽PC-□-FPRXELはセキュリティ機能1を表しています(選択任意)

タイプVW(オールインワンノート)では、内蔵指紋センサ(ライン型)&暗証番号ボタンが標準搭載です。

✓	型　番	セキュリティ機能1
	N、またはJ	内蔵指紋センサ(ライン型)

❾PC-□-SCBMPLはセキュリティ機能2を表しています(選択任意)。

✓	型　番	セキュリティ機能2
	N、またはJ	SecurePack(InfoCage/モバイル防御付)

❿PC-N-KB□□□L、PC-J-KB□□□Lはキーボードを表しています(選択必須)。

✓	型　番	キーボード
	RLV	タイプA
	RVA	タイプB

⓫PC-N-N2□□□L、PC-J-N2□□□Lは通信機能2を表しています(選択任意)。

✓	型　番	通信機能2
	RMD	モデム

⓬PC-□-ADUSMJはUSBメモリを表しています(選択任意)。

✓	型　番	USBメモリ
	N、またはJ	USBメモリ(256MB)

⓭PC-N-BC□□□L、PC-J-BC□□□Lは再セットアップ用媒体を表しています(選択任意)。

✓	型　番	再セットアップ用媒体
	RXP	再セットアップ用CD-ROM(Windows XP Professional用)
	RXH	再セットアップ用CD-ROM(Windows XP Home Edition用)

※上記の❶〜⓭の全ての組み合わせが実現できているわけではありません。

以上で型番を控えるは完了です。
次のページの「2　添付品の確認」へ進んでください。

2 添付品の確認

添付品を確認する

梱包箱を開けたら、まず添付品が揃っているかどうか、このチェックリストを見ながら確認してください。万一、添付品が足りない場合や破損していた場合は、すぐにご購入元にご連絡ください。

- 梱包箱には、このチェックリストに記載されていない注意書きの紙などが入っている場合がありますので、本機をご使用いただく前に必ずご一読ください。また、紛失しないよう、保管には十分気を付けてください。
- 本機を箱から取り出すときは、マニュアル類が入っている面が下になるように、箱を置き直してください。

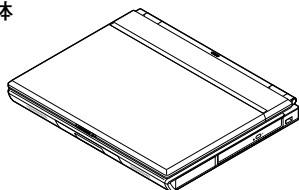
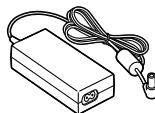
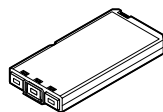
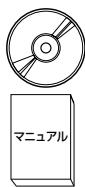
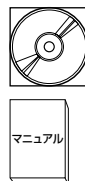
❶箱の中身を確認する

p.2の1またはp.5の1、p.6の2の型番を参照すると、よりわかりやすくなります。

□ は、各々1つにパックされています。

□保証書(本体梱包箱に貼り付けられています)

保証書は、ご購入元で所定事項をご記入の上、お受け取りになり、保管してください。保証期間中に万一故障した場合は、保証書の記載内容にもとづいて修理いたします。保証期間後の修理については、ご購入元、または当社指定のサービス窓口にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有償修理いたします。

□はじめにお読みください(このマニュアルです)

□ソフトウェアのご使用条件（お客様へのお願い）
（箱の中身を確認後必ずお読みください）
□ソフトウェア使用条件適用一覧/添付ソフトウェアサポート窓口一覧
（箱の中身を確認後必ずお読みください）
□アプリケーションCD-ROM／マニュアルCD-ROM
□安全にお使いいただくために
□活用ガイド　再セットアップ編
□保証規定&修理に関するご案内

アプリケーションでOffice Personal 2003、
またはOffice Professional Enterprise Edition 2003を
選択した場合添付

□選択アプリケーション
Microsoft® Office Personal Edition 2003、または
Microsoft® Office Professional Enterprise Edition 2003
添付品は、選択アプリケーションに添付のマニュアルをご覧ください。
（p.3 1-❺、またはp.7 2-❺で選択アプリケーションの有無がわかります）

マウスを選択した場合添付

□マウス

再セットアップ用媒体を選択した場合添付

□再セットアップ用CD-ROM

CD-ROM系の種類でCD-R/RW with DVD-ROM、
またはDVD スーパーマルチドライブを選択した場合添付

□WinDVD CD-ROM / DigitalMedia / DLA CD-ROM

CD-ROM系の種類でDVD-ROMを選択した場合添付

□WinDVD CD-ROM

❷本体にある型番、製造番号と保証書の型番、製造番号が一致していることを確認する

PC-VX XXX…XX

万一違っているときは、すぐにご購入元にご連絡ください。また保証書は大切に保管しておいてください。
なお、フリーセレクション型番の場合は、フレーム型番のみが表示されています。

以上で添付品の確認は完了です。
次のページの「3　使用場所の決定」へ進んでください。

3 使用場所の決定

使用場所を決める

○ 使用に適した場所

使用に適した場所は次のような場所です。

◆屋内

◆温度5℃～35℃、湿度20％～80％（ただし結露しないこと）

◆平らで十分な強度があり、落下のおそれがない（机の上など）

× 使用に適さない場所

次のような場所では使用しないでください。本機の故障や破損の原因となります。

◆磁気を発生するもの（扇風機、スピーカなど）や磁気を帯びているものの近く

◆直射日光があたる場所

◆暖房機の近く

◆薬品や液体の近く

◆腐食性ガス（オゾンガス）などが発生する場所

◆テレビ、ラジオ、コードレス電話、携帯電話、他のディスプレイなどの近く

◆人通りが多くてぶつかる可能性がある場所

◆ドアの開け閉めで、ドアが当たる場所

◆ホコリが多い場所

◆本体背面または側面にある通風孔がふさがる場所

◆テレビ、ラジオなどと同じACコンセントを使う場所

使用場所が決まったら……

使用場所が決まったら、本機の使用と添付品の接続を行います。
また、本機は精密機器ですから、慎重に取り扱ってください。乱暴な取り扱いをすると、故障や破損の原因となります。

本機を移動するときは……

本機に接続している、全てのケーブル、コード（電源コードなど）を取り外してください。本機を持ち上げるときは、左右から手を入れて底面を持ってください。また、移動中に、壁などにぶつけたりすると故障や破損の原因となりますので、大切に取り扱ってください。

以上で使用場所の決定は完了です。
次のページの「4　添付品の接続」へ進んでください。

4 添付品の接続

接続するときの注意

・ **LANケーブル(別売)は接続しない、無線LAN機能はオフにする**

LANケーブルは、本機を安全にネットワークに接続させるため、Windowsのセットアップ、ファイアウォールの設定を終了させてから接続するようにしてください。

また、無線LANモデルをお使いの場合は、無線LAN機能がオフになっていることを確認してください(工場出荷時の状態では、無線LAN機能はオフになっています)。

・ **添付品の接続をするときは、コネクタの端子に触れない**

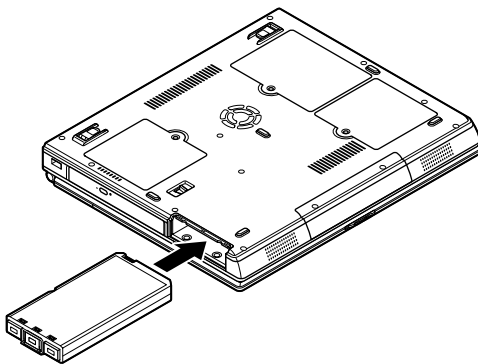
故障の原因となります。

添付品の接続方法

1. バッテリパックを取り付ける

❶本体を裏返す

❷本体にバッテリパックを取り付ける

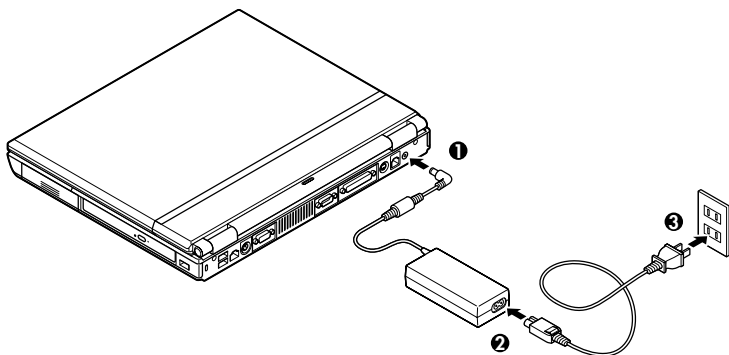
バッテリパックの向きに注意して、矢印の方向にカチッと音がするまでしっかりと取り付けてください。

2. ACアダプタを取り付ける

- ご購入直後は、バッテリ駆動ができないことや動作時間が短くなること、バッテリ残量が正しく表示されないことがあります。
  必ず、フル充電してから使用してください。
- Windowsのセットアップが終わるまで、ACアダプタを抜かないでください。

❶本機背面の電源コネクタ(⎓)に、ACアダプタ(PC-VP-WP73)を差し込む

❷電源コードをACアダプタに接続する

❸電源コードのもう一方のプラグを壁などのコンセントに差し込む

ACアダプタを取り付けると、自動的にバッテリの充電が始まり、バッテリ充電ランプ(▭)がオレンジ色に点灯します。
バッテリがフル充電されるとバッテリ充電ランプ(▭)が消灯します。

バッテリの充電状態によってはバッテリ充電ランプ(▭)が点灯しない場合があります。これはバッテリが95%以上充電されているためです。

以上で添付品の接続は完了です。
次のページの「5　Windowsのセットアップ」へ進んでください。

5 Windowsのセットアップ

初めて本機の電源を入れるときは、Windowsセットアップの作業が必要です。

Windowsのセットアップの途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で、電源スイッチを操作したり電源コードを引き抜いたりすると、故障の原因になります。

セットアップをするときの注意

- **周辺機器は接続しない**

  この作業が終わるまでは、「4　添付品の接続」で接続した機器以外の周辺機器(プリンタや増設メモリなど)の取り付けを絶対に行わないでください。これらの周辺機器を本機と一緒にご購入された場合は、先に「5　Windowsのセットアップ」から「8　使用する環境の設定と上手な使い方」の作業を行った後、周辺機器に添付のマニュアルを読んで接続や取り付けを行ってください。

- **LANケーブル(別売)は接続しない、無線LAN機能はオフにする**

  LANケーブルは、本機を安全にネットワークに接続させるため、Windowsのセットアップ、ファイアウォールの設定を終了させてから接続するようにしてください。

  また、無線LANモデルをお使いの場合は、無線LAN機能がオフになっていることを確認してください(工場出荷時の状態では、無線LAN機能はオフになっています)。

- **システム設定を変更しない**

  Windowsのセットアップが終了するまではシステム設定を変更しないでください。システム設定を変更すると、Windowsのセットアップが正常に終了しない場合があります。

- **途中で電源を切らない**

  作業の途中では絶対に電源を切らないでください。作業の途中で、電源スイッチを操作したり電源コードを引き抜いたりすると、故障の原因になります。途中で画面が止まるように見えることがあっても、セットアッププログラムは動作していることがあります。故障ではありませんので、慌てずに手順通り操作してください。

- **セットアップ中は放置しない**

  Windowsのセットアップが終了し、いったん電源を切るまで、セットアップ中でキー操作が必要な画面を含み、本機を長時間放置しないでください。

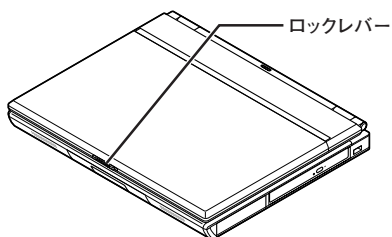
障害が発生した場合や誤って電源スイッチを押してしまった場合は、p.22「セットアップ中のトラブル対策」をご覧ください。

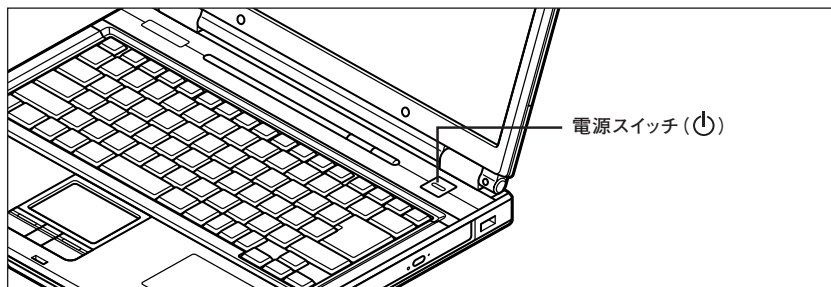
セットアップを始める前の準備

Windowsセットアップ中に本機を使う人の名前を入力する必要があります。登録する名前を決めておいてください。

電源を入れる

❶本機のふたを開ける

ロックレバーを右にスライドさせたまま、ふたを持ち上げます。

❷本機の電源を入れる

工場出荷時の状態では、音量が最小になっています。音量調節つまみで音量を調整してください。

チェック!!

液晶ディスプレイは、非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け※(ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点)が見えることがあります。
また、見る角度によっては、色むらや明るさのむらが見えることがあります。
これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
※：社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)のガイドラインに従い、ドット抜けの割合を「付録」の「仕様一覧」に記載しています。ガイドラインの詳細については、以下のWEBサイトをご覧ください。
「パソコン用液晶ディスプレイのドット抜けに関する定量的表記ガイドライン」
http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/0503dot/index.html

セットアップの作業手順

以降は、お買い上げいただいたオペレーティングシステムに従って、次の「1. Windows XP Professionalのセットアップ」、またはp.20「2. Windows XP Home Editionのセットアップ」に進んでください。

1. Windows XP Professionalのセットアップ

Windows XP Professionalのセットアップを開始します。

- これ以降は、セットアップの作業が完了するまでは、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。
- 「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- 手順④～⑦の設定方法についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❶「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

❷「使用許諾契約」画面を確認する

をクリックするか、キーボードの【PageDown】を押すと、「契約書」の続きを読むことができます。

❸内容を確認後、「同意します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

（同意しない場合セットアップは続行できません）

❹「コンピュータを保護してください」画面が表示されたら、「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」、または「後で設定します」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❺「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されたら、名前を入力し、「次へ」ボタンをクリック

❻「管理者パスワードを設定してください」画面が表示されたら、管理者パスワードを入力し、「次へ」ボタンをクリック

❼「このコンピュータをドメインに参加させますか？」画面が表示された場合は、「いいえ」、または「はい」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❽「インターネットを確認しています」画面が表示された場合は、「省略」ボタンをクリック

❾「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示された場合は、「いいえ、今回はユーザー登録しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❿「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されたら、ユーザ名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

ユーザ名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。なお、ここで入力した「ユーザー1」の内容が、「システムのプロパティ」の「使用者」として登録されます。「使用者」はセットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。

⓫「設定が完了しました」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

Windows XP Professionalのセットアップが終了したら、p.21「電源を切る」の手順に従い、必ず一度電源を切ってください。

2. Windows XP Home Editionのセットアップ

Windows XP Home Editionのセットアップを開始します。

- これ以降は、セットアップの作業が完了するまで、電源スイッチに絶対に手を触れないでください。セットアップが完了する前に電源を切ると、故障の原因になります。
- 「Microsoft Windows へようこそ」の画面が表示されるまで時間がかかります。しばらくお待ちください。
- 手順④、⑤の設定方法についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

❶「Microsoft Windows へようこそ」画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック

❷「使用許諾契約」画面を確認する

をクリックするか、キーボードの【PageDown】を押すと、「契約書」の続きを読むことができます。

❸内容を確認後、「同意します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック

(同意しない場合セットアップは続行できません)

❹「コンピュータを保護してください」画面が表示されたら、「自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます」、または「後で設定します」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❺「コンピュータに名前を付けてください」画面が表示されたら、名前を入力し、「次へ」ボタンをクリック

❻「インターネットを確認しています」画面が表示された場合は、「省略」ボタンをクリック

❼「Microsoftにユーザー登録する準備はできましたか？」画面が表示された場合は、「いいえ、今回はユーザー登録しません」を選択し、「次へ」ボタンをクリック

❽「このコンピュータを使うユーザーを指定してください」画面が表示されたら、ユーザ名を入力し、「次へ」ボタンをクリック

ユーザ名を入力しないと、次の操作に進むことはできません。なお、ここで入力した「ユーザー1」の内容が、「システムのプロパティ」の「使用者」として登録されます。「使用者」はセットアップが完了した後には変更できません。変更するには再セットアップが必要です。

❾「設定が完了しました」画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック

途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまでしばらくかかります。

Windows XP Home Editionのセットアップが終了したら、次の「電源を切る」の手順に従い、必ず一度電源を切ってください。

電源を切る

次の手順で正しく電源を切ってください。

❶「スタート」ボタンをクリックし、「終了オプション」をクリック

❷「電源を切る」ボタンをクリック

自動的に電源が切れます。

以上でWindowsのセットアップは完了です。
本機を安全にネットワークに接続するために、セキュリティ環境の更新を行います。
p.24「LANケーブルの接続」へ進んでください。

セットアップ中のトラブル対策

電源スイッチを押しても電源が入らない

電源コードの接続が不完全であることが考えられるので、一度電源コードをコンセントから抜き、本体と電源コードがしっかり接続されていることを確認してから、もう一度電源コードをコンセントに差し込む

電源コードを接続し直しても電源が入らない場合は、本体の故障が考えられますので、ご購入元にご相談ください。

セットアップの画面が表示されない

初めて本機の電源を入れたときに、「Press〈F1〉to resume,〈F2〉to Setup」または「〈F1〉キーを押すと継続、〈F2〉キーを押すとセットアップを起動します。」と表示された場合は、次の手順に従ってください。

❶【F2】を押す

BIOS セットアップユーティリティが表示されます。

❷【F5】、【F6】で時間(24時間形式)を設定し【ENTER】を押す

時刻の値は数字キーで入力できます。

❸同様に分、秒、月、日、年(西暦)を順に設定する

言語を日本語に設定している場合は、時、分、秒、年(西暦)、月、日の順に設定します。

❹【F9】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

❺「Yes」を選び、【ENTER】を押す

BIOS セットアップユーティリティが表示されます。

❻【F10】を押す

セットアップ確認の画面が表示されます。

❼「Yes」を選び、【ENTER】を押す

BIOSセットアップユーティリティが終了し、Windowsが自動的に再起動します。

この後は、p.19「セットアップの作業手順」をご覧になり、作業を続けてください。

セットアップの途中で、誤って電源を切ってしまった

電源を入れて、表示される画面をチェックする

CHKDSKが実行され、ハードディスクに異常がないときは、セットアップを続行できます(CHKDSKは実行されない場合もあります)。

セットアップが正常に終了した後は問題なくお使いいただけます。エラーメッセージが表示された場合は、システムを起動するためのファイルに何らかの損傷を受けた可能性があります。この場合、Windowsは起動しません。Windowsを再セットアップするか、ご購入元にご相談ください。

再セットアップについては、『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

セットアップの途中でパソコンが反応しない、またはエラーメッセージが表示された

パソコンが反応しなかったり、エラーメッセージが表示された場合は、メッセージを書き留めた後、本機の電源スイッチを4秒以上押して強制的に終了する

いったん電源を切った後で電源を入れ直す場合は、電源を切ってから5秒以上間隔をあけて電源を入れてください。その後、上記の「電源を入れて、表示される画面をチェックする」をご覧ください。

本機を安全にネットワークに接続するために、セキュリティ環境の更新を行います。

次のページの「LANケーブルの接続」へ進んでください。

LANケーブルの接続

1. 本機を安全にネットワークに接続するために

コンピュータウイルスやセキュリティ上の脅威を避けるためには、お客様自身が本機のセキュリティを意識し、常に最新のセキュリティ環境に更新する必要があります。
LANケーブル(別売)、および無線LANなどを使用して本機を安全にネットワークに接続させるために、以下の対策を行うことを強く推奨します。

稼働中のローカルエリアネットワークに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってLANケーブル、および無線LANなどの接続を行ってください。

❶ファイアウォールの利用

コンピュータウイルスの中には、ネットワークに接続しただけで感染してしまう例も確認されていますので、ファイアウォールを利用することを推奨します。

本機にインストールされているOSでは標準で「Windowsファイアウォール」機能が有効になっています。
「Windowsファイアウォール」について、詳しくはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

❷Windows Update、またはMicrosoft Update

最新かつ重要なセキュリティの更新情報が提供されています。ネットワークに接続後、Windowsを最新の状態に保つために、Windows Update、またはMicrosoft Updateで「優先度の高い更新プログラム」の更新を定期的に実施してください。

Windows Updateについて、詳しくはWindowsの「ヘルプとサポート」をご覧ください。

Microsoft Updateについて、詳しくはマイクロソフト サポート技術情報-902296をご覧ください。

参照 **マイクロソフトのサポート技術情報について**
「Microsoft Updateを利用するには」
http://support.microsoft.com/kb/902296/ja/

❸ウイルス対策アプリケーションの利用

本機にはウイルスを検査・駆除するアプリケーション(ウイルスバスター)が添付されています。

コンピュータウイルスから本機を守るために、ウイルスバスターをインストールすることを推奨します。

ウイルスバスターはインストールした環境のまま使用し続けた場合、十分な効果は得られません。日々発見される新種ウイルスに対応するためウイルスパターンファイルを最新の状態にする必要があります。

ウイルスパターンファイルの無償提供期間はアップデート機能の有効化後、90日間です。引き続きお使いになる場合は、ウイルスバスターのウイルスパターンファイルなどを1年間更新できる権利を購入する必要があります。

ウイルスバスターについて、詳しくは『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「ウイルスバスター」をご覧ください。

メモ

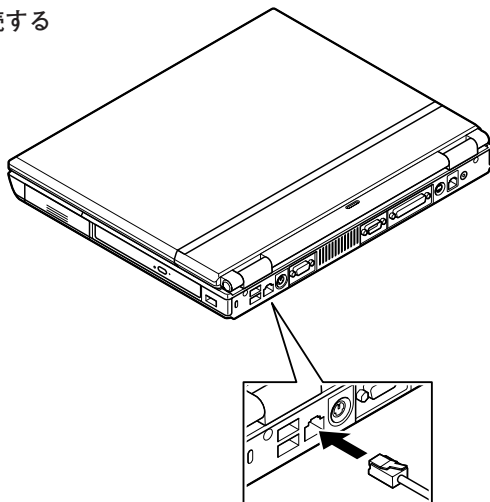
Windows XPのセキュリティ機能(Windowsセキュリティセンター)では、Windowsファイアウォール、Microsoft Updateの自動更新、ウイルス対策アプリケーションが有効になっているかどうかをリアルタイムで監査し、無効になっている場合は画面に警告を表示します。

LANケーブルを接続する場合は、次の「2. LANケーブル(別売)を接続する」へ進んでください。

2. LANケーブル(別売)を接続する

必要に応じて次の接続を行ってください。
LAN(ローカルエリアネットワーク)に接続するときは、LANケーブル(別売)を使い、次の手順で接続します。

稼働中のLANに接続する場合は、ネットワーク管理者の指示に従ってLANケーブルの接続を行ってください。

❶本機の電源を切り、LANケーブルのコネクタを本体のアイコン( )に従って接続する

❷ハブなどのネットワーク機器に、LANケーブルのもう一方のコネクタを接続し、本機の電源を入れる

ウイルスバスターをインストールした場合は、パターンファイルのアップデートを行います。次の「3.パターンファイルのアップデート」へ進んでください。

3. パターンファイルのアップデート

本機ではWindows起動前にウイルスバスターのウイルスパターンファイルをアップデートすることができるPlatform 5 アップデートエージェントをインストールしています。
ウイルス感染の危険性をより低減させるため、Windowsを起動させる前にパターンファイルのアップデートをおすすめします。

Platform 5 アップデートエージェントの設定方法については、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「Platform 5 アップデートエージェント」をご覧ください。

以上でLANケーブルの接続は完了です。
次のページの「6　お客様登録」へ進んでください。

6 お客様登録

本製品のお客様登録はInternet Explorerの「お気に入り」メニューにある「NEC 8番街 (お客様登録)」からインターネットによる登録を行ってください(登録料、会費は無料です)。

メモ

- VersaPro Jをお使いの場合は、デスクトップにある「NEC 8番街(お客様登録)」からでも登録することができます。
- Microsoft社に対するユーザー登録は、「ユーザー登録ウィザード」で行うことができます。「スタート」ボタン→「ファイル名を指定して実行」を選択し、「名前」に「regwiz /r」と入力してください。ユーザー登録についての詳細は「ヘルプとサポート」、またはWindowsのヘルプをご覧ください。

以上でお客様登録は完了です。
次の「7　マニュアルの使用方法」へ進んでください。

7 マニュアルの使用方法

本機に添付、またはCD-ROM(「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」)に格納されているマニュアルを紹介します。目的にあわせてお読みください。
また、マニュアル類はなくさないようにご注意ください。マニュアル類をなくした場合は『活用ガイド　ソフトウェア編』の「トラブル解決Q&A」の「その他」をご覧ください。

マニュアルの使用方法

※印のマニュアルは、「VersaPro/VersaPro J 電子マニュアル」として「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」に入っています。「VersaPro/VersaPro J 電子マニュアル」の使用方法については、p.29「電子マニュアルの使用方法」をご覧ください。

●『安全にお使いいただくために』

本機を安全にお使いいただくための情報を記載しています。使用する前に必ずお読みください。

●『活用ガイド　再セットアップ編』

本機のシステムを再セットアップするときにお読みください。

●『活用ガイド　ハードウェア編　タイプVW(オールインワンノート)、タイプVR(オールインワンノート)』　※
本機の各部の名称と機能、内蔵機器の増設方法、システム設定(BIOS設定)について確認したいときにお読みください。

●『活用ガイド　ソフトウェア編』　※
アプリケーションの概要と削除/追加、ハードディスクのメンテナンスをするとき、他のOSをセットアップする(VersaPro Jではプリインストールされている OS以外は使用できません)とき、またはトラブルが起きたときにお読みください。

●選択アプリケーションのマニュアル
Office Personal 2003、またはOffice Professional Enterprise 2003を選択した場合、マニュアルが添付されています(p.2「1　型番を控える」をご覧ください)。ご利用の際にお読みください。

●無線LAN用マニュアル　※
『「無線LAN(IEEE802.11a/b/g)」について』
無線LANの各機能について知りたいときにお読みください。

●『指紋センサ(ライン型)　ユーザーズガイド』
内蔵指紋センサ(ライン型)をご利用の際にお読みください。

●『セキュリティチップ ユーティリティ マニュアル』　※
本機のセキュリティチップ機能について確認したいときにお読みください。

●『InfoCage®/モバイル防御 インストールガイド』
モデルによって、『InfoCage®/モバイル防御 インストールガイド』が添付されています(p.2「1 型番を控える」をご覧ください)。ご利用の際にお読みください。

●『保証規定＆修理に関するご案内』
パソコンに関する相談窓口、保証期間と保証規定の詳細内容およびQ&A、有償保守サービス、お客様登録方法、NECビジネスPC/Express5800情報発信サイト「NEC 8番街」について知りたいときにお読みください。

Microsoft関連製品の情報について

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用にMicrosoft関連商品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。

http://www.microsoft.com/japan/info/press/

電子マニュアルの使用方法

電子マニュアルを使用する場合は、次の手順で起動してご覧ください。

❶CD-ROMドライブ、DVD-ROMドライブ、CD-R/RW with DVD-ROMドライブ、またはDVDスーパーマルチドライブに、本機に添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」をセットする

❷「エクスプローラ」、または「マイコンピュータ」を開く

❸CD-ROMドライブのアイコンをダブルクリック

❹「_manual」フォルダをダブルクリックし、「index」ファイルをダブルクリック

「VersaPro/VersaPro J 電子マニュアル」が表示されます。

PDF形式のマニュアル(ファイル)をご覧いただくときの補足事項

あらかじめ、本機にAdobe Readerをインストールしておく必要があります。詳しくは『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「Adobe Reader」をご覧ください。

メモ

・必要に応じて「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用ください。

「_manual」フォルダをハードディスクのルートディレクトリにコピーしてご利用の際、フォルダ名・ファイル名などは変更しないでください。コピー先のフォルダ名は全て英数字の半角文字である必要があります。それ以外の文字(「デスクトップ」などの日本語)のフォルダ名にコピーすると起動できなくなります。

・Windowsが起動しなくなったなどのトラブルが発生した場合は、電子マニュアルをご覧になれません。そのため、あらかじめ「トラブル解決Q&A」を印刷しておくと便利です。

・NECビジネスPC/Express5800情報発信サイト「NEC 8番街」では、NEC製のマニュアルを電子マニュアル化し、ダウンロードできるサービスを行っております。

http://nec8.com/

「サポート情報」→「商品情報・消耗品」→「本体添付マニュアル」の「ビジネスPC(Mate & VersaProの電子マニュアル)」から、電子マニュアルビューアをご覧ください。

また、NEC PCマニュアルセンターでは、マニュアルの販売を行っています。

http://pcm.mepros.com/

以上でマニュアルの使用方法は完了です。
次のページの「8　使用する環境の設定と上手な使い方」へ進んでください。

8 使用する環境の設定と上手な使い方

本機を使用する環境や運用･管理する上で便利な機能を設定します。機能の詳細や設定方法については､『活用ガイド　ハードウェア編　タイプVW(オールインワンノート)､タイプVR(オールインワンノート)』､『活用ガイド　ソフトウェア編』､および『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

1. 最新の情報を読む

補足説明

補足説明には､本製品のご利用にあたって注意していただきたいことや､マニュアルには記載されていない最新の情報について説明していますので､削除しないでください。以下の方法でお読みください。

・「VersaPro/VersaPro J 電子マニュアル」を起動して「補足説明」をクリック
・「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「補足説明」をクリック

2.「再セットアップ用CD-ROM」の作成について

「再セットアップ用CD-ROM」の作成機能については､出荷時の製品構成でのみサポートしております。

「再セットアップ用CD-ROM」を作成する場合は､必ずService Packや DigitalMediaのアップデート前に作成してください。

「再セットアップ用CD-ROM」作成についての詳細は『活用ガイド　再セットアップ編』をご覧ください。

3. Windows XP のService Packについて

本機にはService Pack 2がインストールされています。

Service Pack 2を削除することにより、使用できなくなる機能、機器がありますので、Service Pack 2を削除する場合は十分に注意してください(使用できなくなる機能、機器についての詳細は『活用ガイド　ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「「Service Pack」について」をご覧ください)。

4. 不正使用/盗難防止について

スーパバイザ/ユーザパスワード､盗難防止用ロックなど

本機には､本機の不正使用を防止する機能(スーパバイザ/ユーザパスワード)､盗難にあってもハードディスクドライブのデータの漏洩を防ぐ機能(ハードディスクパスワード)､本機や内蔵部品(メモリやハードディスクドライブ)の盗難を防止するため､錠をかける機能(盗難防止用ロック)があります。この他にも便利な機能があります。

詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編　タイプVW(オールインワンノート)、タイプVR(オールインワンノート)』の「PART1　本体の構成各部」の「セキュリティ機能／マネジメント機能」をご覧ください。

5. Intel SpeedStep® テクノロジーについて

Intel SpeedStep® テクノロジー

電源の種類やCPUの動作負荷によって、動作性能を切り替えることができます。
詳しくは『活用ガイド　ハードウェア編　タイプVW(オールインワンノート)、タイプVR(オールインワンノート)』の「PART1　本体の構成各部」の「電源」の「省電力機能について」をご覧ください。

6. データのバックアップの設定

データのバックアップ方法については、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「メンテナンスと管理」の「ハードディスクのメンテナンス」をご覧ください。

StandbyDisk Solo RBは「InfoCage®/モバイル防御」と併用することはできません。

StandbyDisk Solo RB

ハードディスク内にある第1パーティション(システムドライブ)の使用領域とほぼ同じ容量をバックアップ先(以後スタンバイ・エリア)として同パーティション内に確保し、使用領域のバックアップを行います。
稼動中のシステムに障害が起きた際、スタンバイ・エリアからシステムを起動することで、ハードウェア障害であるか、あるいはソフトウェア障害であるかを絞り込むことが可能です。

次の方法で「StandbyDisk Solo RB インストールガイド」を起動し、StandbyDisk Solo RBをインストールしてください。なお、StandbyDisk Solo RB は、VersaProのみ使用できます。

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「メンテナンスツール」→「StandbyDisk Solo RBインストールガイド」をクリック

また、次のWebサイトからStandbyDisk Solo RBの上位互換ソフトウェアであるStandbyDisk Soloにアップグレードすることができます(有償)。

http://www.netjapan.co.jp/solo/rb1a4/

7. LANDesk® Management Agentのセットアップについて

LANDesk Management AgentはLANDesk Software, Ltd.から販売されているLANDesk® Management Suite(別売)を使用してLANDesk® Management Suiteクライアントエージェントのリモートインストールをサポートするアプリケーションです。
LANDesk Management Suiteクライアントエージェントをインストールすることにより、LANDesk Management Suiteによる管理を可能にし、情報機器のソフトウェア、およびハードウェアの資産管理、セキュリティパッチの適用状況、OSやアプリケーションの更新などができます。

LANDesk Management Agentのセットアップ方法については、本機添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」内の「LDMA」ディレクトリの「SETUP.TXT」をご覧ください。

なお、LANDesk Management Agentは、VersaProのWindows XP Professionalモデルのみ使用できます。

8. セキュリティの設定

❶セキュリティチップ ユーティリティ

セキュリティチップ ユーティリティでは、電子メールの保護機能や、ファイルとフォルダの暗号化(EFS)機能、Personal Secure Drive(PSD)機能を利用できます。
本体にハードウェア的にTPM(Trusted Platform Module)と呼ばれるセキュリティチップを実装し、セキュリティチップ内で暗号化や暗号化の解除、鍵の生成をするため、強固なセキュリティ機能を持っています。
また、セキュリティチップ上に暗号鍵を持つため、ハードディスクを取り外して持ち出されてもデータを読みとられることはありません。
詳しくは、「VersaPro/VersaPro J 電子マニュアル」の「セキュリティチップ ユーティリティ マニュアル」をご覧ください。
なお、セキュリティチップユーティリティは、Windows XP Professionalモデルのみ使用できます。

❷IWS™ Desktop Security

IWS™ Desktop Securityは「InfoCage®/モバイル防御」と併用することはできません。

IWS™ Desktop Securityは、保護されたWebサイトや文書へのアクセスに必要な情報(ユーザID、パスワードなど)をセキュリティチップ(以下、TPM)と連携し安全に格納・管理し、必要に応じて自動入力することができます。
また、TPMと連携することで、大切なファイルの保護(暗号化)や、Windowsログオン時のセキュリティを強化することができます。内蔵指紋センサ(ライン型)をご使用の場合は、指紋認証機能によるWindowsログオンも可能です。

詳しくは、『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「IWS™ Desktop Security」をご覧ください。

なお、IWS™ Desktop Securityは、Windows XP Professionalモデルのみ使用できます。

❸暗号化ファイルシステム(EFS)

EFS(Encrypting File System)は、Windows XP Professionalの標準ファイルシステムであるNTFSが持つファイルやフォルダの暗号化機能です。暗号化を行ったユーザ以外、データ復号化が行えないため、高いセキュリティ効果をもたらすことが可能です。

また、Windows XP Professionalインストールモデルでは、「ハードディスク暗号化ユーティリティ」を使用することにより、暗号化ファイルシステムを簡単に設定することができます。

詳しくは、『活用ガイド ソフトウェア編』の「アプリケーションの概要と削除/追加」の「ハードディスク暗号化ユーティリティ」をご覧ください。

なお、「ハードディスク暗号化ユーティリティ」はWindows XP Professionalモデルのみ使用できます。

❹指紋認証機能

指紋認証機能とはパスワードの入力のかわりに、内蔵指紋センサ(ライン型)を使って指紋による認証を行うシステムです。

本機ではIWS™ Desktop Securityと連携して、Windowsのセキュリティを強化できます。

内蔵指紋センサ(ライン型)の使用方法については、『指紋センサ(ライン型)ユーザーズガイド』をご覧ください。

❺暗証番号ボタン

暗証番号ボタン機能は、本体の暗証番号ボタンを押すことによってパスワード認証ができます。暗証番号ボタンを使ってパスワードを設定した場合、正しいパスワードを入力しないかぎり本機が起動できないため、より強力なセキュリティを実現できます。

詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編　タイプVW(オールインワンノート)、タイプVR(オールインワンノート)』をご覧ください。

なお、暗証番号ボタン機能は、タイプVW(オールインワンノート)のみ使用できます。

9. 上手な使い方

❶トラブルを防止するために

本機のトラブルを予防し、効率よくマネジメントするためには、電源の入れ方/切り方や、エラーチェックなどいくつかのポイントがあります。
また、トラブルが起きてしまった場合にそなえ、「システム修復ディスク」をあらかじめ作成しておくことをおすすめします。「システム修復ディスク」の作成方法は、『活用ガイド 再セットアップ編』を、その他のトラブルの予防については、『活用ガイド　ソフトウェア編』の「トラブル解決Q&A」の「トラブルの予防」をご覧ください。

❷本機のお手入れ

本機を安全に、快適に使用するためには、電源コードやマウスなど定期的にお手入れが必要です。詳しくは、『活用ガイド　ハードウェア編　タイプVW(オールインワンノート)、タイプVR(オールインワンノート)』の「PART4　付録」の「お手入れについて」をご覧ください。

10. 保証期間と保守について

使用開始日表示ユーティリティ

本製品の保証期間は、製品ご購入日、もしくは初回電源投入日のどちらか遅い方の日から開始します。
初回電源投入日、型番、製造番号、構成コードは次の方法で確認できます。

「スタート」ボタン→「すべてのプログラム」→「メンテナンスツール」→「使用開始日表示ユーティリティ」をクリック

本製品の保証についての詳細は『保証規定＆修理に関するご案内』をご覧ください。

9 付録　機能一覧

仕様一覧

1. タイプVW（オールインワンノート）

<table>
<tr><td colspan="3">型名＊[1]</td><td>VY20F/WF-X
VJ20F/WF-X</td><td>VY18F/WF-X
VJ18F/WF-X</td></tr>
<tr><td colspan="3">CPU＊[20]</td><td>インテル® Pentium® M
プロセッサー 760（拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジー＊[14] 搭載）</td><td>インテル® Pentium® M
プロセッサー 750（拡張版 Intel SpeedStep® テクノロジー＊[14] 搭載）</td></tr>
<tr><td></td><td colspan="2">クロック周波数</td><td>2GHz</td><td>1.86GHz</td></tr>
<tr><td rowspan="2">キャッシュメモリ（CPU 内蔵）</td><td colspan="2">1 次</td><td colspan="2">インストラクション用 32KB/ データ用 32KB</td></tr>
<tr><td colspan="2">2 次</td><td colspan="2">2,048KB</td></tr>
<tr><td colspan="3">システムバス</td><td colspan="2">533MHz(メモリバス：533MHz)</td></tr>
<tr><td colspan="3">チップセット</td><td colspan="2">ATI 社製 Radeon® Xpress 200M/IXP 450</td></tr>
<tr><td colspan="3">セキュリティチップ＊[31]</td><td colspan="2">TPM v1.2 準拠</td></tr>
<tr><td rowspan="2">セキュリティ機能</td><td colspan="2">指紋センサ＊[55]＊[80]</td><td colspan="2">ライン型。OS ログオン時、スクリーンセーバ解除時などに指紋による認証が可能</td></tr>
<tr><td colspan="2">暗証番号ボタン</td><td colspan="2">ボタンの組み合わせにより電源投入時の認証が可能（暗証番号の組み合わせは約 80 万通り以上）</td></tr>
<tr><td colspan="3">最大メモリ（メインメモリ）</td><td colspan="2">2,304MB［SO-DIMM スロット× 2］</td></tr>
<tr><td rowspan="12">表示機能</td><td colspan="2">表示素子＊[21]</td><td colspan="2">15 型 TFT カラー液晶(XGA)</td></tr>
<tr><td></td><td>LCD ドット抜け＊[23]</td><td colspan="2">0.00034% 以下</td></tr>
<tr><td colspan="2">グラフィックアクセラレータ</td><td colspan="2">ATI 社製 Radeon® Xpress 200M に内蔵(デュアルディスプレイ機能＊[4]、ハードウェア T&L 機能＊[10]、スムージング機能をサポート)</td></tr>
<tr><td></td><td>ビデオ RAM</td><td colspan="2">32/64/128MB
(BIOS セットアップユーティリティにて変更可能、メインメモリを使用)＊[5]</td></tr>
<tr><td rowspan="6">解像度･表示色＊[11]
(別売の外部ディスプレイ接続時＊[12])</td><td>800 x 600 ドット〈SVGA〉</td><td colspan="2">最大 1,677 万色＊[13](最大 1,677 万色)</td></tr>
<tr><td>1,024 x 768 ドット〈XGA〉</td><td colspan="2">最大 1,677 万色＊[13](最大 1,677 万色)</td></tr>
<tr><td>1,280 x 1,024 ドット〈SXGA〉</td><td colspan="2">最大 1,677 万色＊[13](最大 1,677 万色)
※バーチャルスクリーン機能により実現</td></tr>
<tr><td>1,400 x 1,050 ドット〈SXGA+〉</td><td colspan="2">―</td></tr>
<tr><td>1,600 x 1,200 ドット〈UXGA〉</td><td colspan="2">最大 1,677 万色＊[13](最大 1,677 万色)
※バーチャルスクリーン機能により実現</td></tr>
<tr><td>1,920 x 1,440 ドット</td><td colspan="2">最大 1,677 万色＊[13](最大 1,677 万色)
※バーチャルスクリーン機能により実現</td></tr>
<tr><td rowspan="3">サウンド機能</td><td colspan="2">音源 / サウンド機能</td><td colspan="2">インテル® High Definition Audio 準拠(最大 192kHz/24 ビット＊[48] ステレオ PCM 同時録音再生機能、MIDI 再生機能[OS 標準])、3D オーディオ(Direct Sound 3D 対応)</td></tr>
<tr><td colspan="2">スピーカ / スピーカ定格出力</td><td colspan="2">内蔵ステレオスピーカ / 1.5W+1.5W</td></tr>
<tr><td colspan="2">サウンドチップ</td><td colspan="2">RealTek 社製 ALC262 搭載</td></tr>
<tr><td>通信機能</td><td colspan="2">LAN</td><td colspan="2">標準内蔵(1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 対応)</td></tr>
<tr><td>記憶装置</td><td colspan="2">FDD</td><td colspan="2">標準内蔵、3.5 型、3 モード(720KB/1.2MB/1.44MB)対応＊[35]</td></tr>
<tr><td rowspan="3">入力装置</td><td colspan="2">キーボード</td><td colspan="2">本体との一体型、JIS 標準配列(英数･かな)、Fn キー(ホットキー対応)、12 ファンクションキー･Windows キー･アプリケーションキー･Num Lock キー･右 Alt キー･右 Ctrl キー付</td></tr>
<tr><td colspan="2">ワンタッチスタートボタン</td><td colspan="2">任意のアプリケーションを登録可能なワンタッチスタートボタンを 2 つ装備(出荷時は Microsoft® Internet Explorer、Outlook Express を登録済み)</td></tr>
<tr><td colspan="2">ポインティングデバイス＊[19]</td><td colspan="2">スクロール機能付 NX パッド標準装備</td></tr>
<tr><td rowspan="6">インターフェイス</td><td colspan="2">IEEE1394</td><td colspan="2">―</td></tr>
<tr><td colspan="2">USB</td><td colspan="2">5(右側面× 1 ＊[47]、左側面× 2、背面× 2)、USB2.0 対応</td></tr>
<tr><td colspan="2">TV-OUT 端子</td><td colspan="2">TV-OUT 端子(S ビデオ端子)× 1</td></tr>
<tr><td colspan="2">ディスプレイ</td><td colspan="2">外部ディスプレイコネクタ(アナログ RGB) ミニ D-sub15 ピン× 1</td></tr>
<tr><td colspan="2">シリアル</td><td colspan="2">RS-232C D-sub9 ピン× 1、最高 115.2kbps 対応</td></tr>
<tr><td colspan="2">パラレル</td><td colspan="2">セントロニクス準拠 D-sub25 ピン× 1</td></tr>
</table>

型名*1			VY20F/WF-X VJ20F/WF-X	VY18F/WF-X VJ18F/WF-X
インターフェイス	PS/2		ミニDIN6ピン×1	
	通信関連		RJ45 LANコネクタ×1、RJ11モジュラコネクタ×1(FAXモデム選択時のみ)	
	サウンド関連	マイク入力	ステレオミニジャック×1(マイク入力インピーダンス64kΩ、入力レベル5mVrms、バイアス電圧2.5V)	
		ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1(ヘッドフォン出力インピーダンス 16Ω-100Ω「推奨32Ω」、出力電力 5mW/32Ω)	
		ライン出力	ヘッドフォン出力と共用 (ライン出力レベル 1Vrms)	
PCカードスロット			Type Ⅰ/Ⅱ×2スロット(Type Ⅲ×1としても使用可能)、PC Card Standard準拠、CardBus対応	
パワーマネジメント			自動または任意設定可能(CPU制御*20、HDD制御、モニタ節電機能、スタンバイ機能、ハイバネーション機能)	
電源			ニッケル水素バッテリ(DC9.6V、4000mAh)(バッテリパックは消耗品です)、リチウムイオンバッテリ(DC14.8V、4400mAh)(バッテリパックは消耗品です)またはAC100V±10%、50/60Hz(ACアダプタ経由)[ACアダプタ自体は、入力電圧AC240Vまでの安全規格を取得していますが、添付の電源コードはAC100V用(日本仕様)です。日本以外の国で使用する場合は、別途電源コードが必要です。]	
消費電力*29(最大構成時)			約35W(約75W)	約35W(約75W)
エネルギー消費効率(省エネ基準達成率)*3*29			S区分 0.00035 (AAA)	S区分 0.00038 (AAA)
電波障害対策			VCCI ClassB	
外形寸法(突起部含まず)			333(W)×277(D)×39.8(H)mm	
質量(標準バッテリ含む)*8			約3.6kg	
温湿度条件			5～35℃、20～80%(ただし結露しないこと)	
インストール可能OS*24*27			Windows® XP Professional(SP2)	
主な添付品			ACアダプタ、アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM、印刷マニュアル類、保証書 他	

* 1：セレクションメニューを選択した構成での型名・型番については、本書の「型番を控える」をご覧ください。
* 3：エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。省エネ基準達成率の表示語Aは達成率100%以上200%未満、AAは達成率200%以上500%未満、AAAは達成率500%以上を示します。
* 4：本体の液晶ディスプレイと、外付けディスプレイで、異なるデスクトップ画面を表示する機能。
* 5：ビデオRAM128MBでご使用になる場合は、メインメモリを512MB以上に増設する必要があります。メインメモリ容量が1,024MB以上の場合には、ビデオRAMは128MB固定になります。
* 8：FDD、CD-ROMを含む。PCカードは未装着。
*10：3D描画演算時に「変換処理(Transform)」「照明処理(Lighting)」をハードウェアで支援する機能。ソフトウェア(CPU)演算による描画に比べ、より高度な描画演算が可能になり、グラフィック描画品質が向上します。なお、本機能は対応するソフトウェア(DirectX、Direct3D対応)との組み合わせで有効な機能です。
*11：表示素子(本体液晶ディスプレイ)より低い解像度を選択した場合、拡大表示機能により、液晶画面全体に表示可能。拡大表示によって文字などの線の太さが不均一になることがあります。
*12：本機の持つ解像度及び色数の能力であり、接続するディスプレイ対応解像度、リフレッシュレートによっては表示できない場合があります。本体の液晶ディスプレイと外付けディスプレイの同画面表示可能。ただし、拡大表示機能を使用しない状態では、外付けディスプレイ全体には表示されない場合があります。
*13：1,677万色表示は、グラフィックアクセラレータのディザリング機能により実現。
*14：プリインストールOS以外のOS環境では、拡張版Intel SpeedStep® 機能が使用できない場合があります。
*19：PS/2マウス接続時は、NXパッドの機能は自動的に無効化されます。
*20：使用環境や負荷によりCPU動作スピードをダイナミックに変化させる制御を搭載しています。
*21：液晶ディスプレイは非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け(ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点)が見えることがあります。また、見る角度によっては色むらや明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。なお、ドット抜けについては*23もご覧ください。
*23：ドット抜け割合の基準値はISO13406-2の基準に従って、副画素(サブピクセル)単位で計算しています。詳細はhttp://nec8.com/products/pc/lcddot.html をご参照ください。
*24：インストール可能OS用ドライバは本体に添付しておりません。また、VersaPro JではプリインストールされているOS以外は使用できません。「http://nec8.com/」の上段ボタン中「サポート情報」の「ダウンロード・OS情報・注意事項」→「ダウンロード」の「ビジネスPC(Mate&VersaPro)/プリンタ(MultiWriter&MultiImpact)/PC周辺機器」の「インストール可能OS用ドライバ(サポートOS用ドライバ)」の「VersaPro」に順次掲載いたします。なお、インストール可能OSをご利用の際、「インストール/添付アプリケーション」がご利用いただけない等、いくつか制限事項があります。必ずご購入前に「インストール可能OSをご利用になる前に必ずお読みください」をご覧になり、制限事項を確認してください。
*27：「SP」は「Service Pack」の略称です。インストール可能OS用ドライバは( )内のService Packのバージョンにてインストール手順の確認をおこなっているものです。インストール可能OSを使用する場合は( )内のService Packを適用してご使用ください。別売のOSとService Packは別途入手が必要となります。
*29：OSはWindows® XP Professional、メモリ512MB(エネルギー消費効率はメモリ2,304MB)、ハードディスク40GB、DVD-ROMありの構成で測定。

＊31：プリインストールのWindows® XP Professional以外では使用できません。
＊35：1.2MBへの対応はドライバのセットアップが必要(標準添付)。1.44MB以外(720KB/1.2MB)のフォーマット不可。
＊47：USBポートのうち、右側面1ポートは挿抜耐性を強化したコネクタを採用しております。
＊48：使用出来る量子化ビットやサンプリングレートは、OSや使用するアプリケーションなどのソフトウェアによって異なります。
＊55：内蔵指紋センサ(ライン型)はプリインストールのWindows® XP Professional以外ではご利用になれません。
＊80：内蔵指紋センサ(ライン型)とUSBロック機能は同時使用できません。

◆セレクションメニュー*51

型名*1			VY20F/WF-X VJ20F/WF-X	VY18F/WF-X VJ18F/WF-X
再セットアップ用データ*52	HDD		再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納*53	
	CD-ROM		再セットアップ用CD-ROM*54添付	
メモリ*57	512MB		ECC無しDDR2-SDRAM、PC2-4200、オンボード256MB+256MB SO-DIMM×1*95	
	768MB		ECC無しDDR2-SDRAM、PC2-4200、オンボード256MB+512MB SO-DIMM×1*95	
	1,280MB		ECC無しDDR2-SDRAM、PC2-4200、オンボード256MB+512MB SO-DIMM×2*96	
	1,280MB		ECC無しDDR2-SDRAM、PC2-4200、オンボード256MB+1,024MB SO-DIMM×1*95	
	2,304MB		ECC無しDDR2-SDRAM、PC2-4200、オンボード256MB+1,024MB SO-DIMM×2*97	
通信機能	FAXモデム*70	モデム	モデム内蔵(データ転送速度 最大56kbps(V.90)エラー訂正V.42/MNP4 データ圧縮V.42bis/MNP5)	
		FAX	内蔵(データ転送速度 最大14.4kbps (V.17)FAX制御クラス1)	
	無線LAN (IEEE802.11a/b/g)*60*84		IEEE802.11a/b/g準拠*58*74、WPA2対応、WEP対応〔暗号鍵長64/128/152ビット(ユーザ設定鍵長40/104/128ビット)〕	
キーボード			87キー(タイプA)または90キー(タイプB)	
マウス	USBマウス(ボール)		USBマウス(ボール式、スクロールホイール付き)(ケーブル長:約80cm)	
	USBマウス(光センサー)		USBマウス(光センサー式*85、スクロールホイール付き)(ケーブル長:約80cm)	
ハードディスク	40GB		約40GB*63*89、Serial ATA、5,400rpm、SMART機能対応	
	80GB		約80GB*63*89、Serial ATA、5,400rpm、SMART機能対応	
	100GB		約100GB*63*89、Serial ATA、5,400rpm、SMART機能対応	
CD-ROM系*61*66	DVD-ROM*90		内蔵、CD-ROM読み込み:最大24倍速、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、DVD-RAM読み込み:最大5倍速*76*93	
	CD-R/RW with DVD-ROM*65*67*90		内蔵、CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R書き込み:最大24倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大4倍速、DVD+R(1層)読み込み:最大4倍速、DVD-RAM読み込み:最大2倍速*76*93	
	DVDスーパーマルチドライブ*65*67*90		内蔵、CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R書き込み:最大24倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD-R(1層)書き込み:最大8倍速*77、DVD-R(2層)読み込み:最大4倍速、DVD-R(2層)書き込み:最大4倍速、DVD+R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD+R(1層)書き込み:最大8倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大6倍速、DVD+R(2層)書き込み:最大4倍速、DVD-RW書き換え:最大6倍速*78、DVD+RW書き換え:最大8倍速、DVD-RAM読み込み:最大5倍速*76、DVD-RAM書き換え:最大5倍速*76*88	
USBメモリ			256MB(USB2.0対応)	
バッテリ*62	ニッケル水素バッテリ	駆動時間(JEITA*59準拠)	約1.5～1.6時間(約1.5時間)	
		充電時間(ON時/OFF時)	約2.2時間/約2.2時間	
	リチウムイオンバッテリ	駆動時間(JEITA*59準拠)	約2.8～3.0時間(約2.9時間)	
		充電時間(ON時/OFF時)	約2.8時間/約2.7時間	

＊51: セレクションメニュー中の各オプションは単体販売を行っておりません。

＊52: セレクションによっては再セットアップ用CD-ROMは添付されておりません。HDDに格納してある再セットアップ用バックアップイメージ破損や誤って消去した場合などの媒体購入方法はhttp://nx-media.ssnet.co.jpをご参照ください。

＊53: HDD内の約3GBを再セットアップ領域として使用。これらの「再セットアップ用バックアップイメージ」をCD-R媒体に書き出す場合には、ご購入時にセレクションメニューでCD-R/RW with DVD-ROMまたはDVDスーパーマルチドライブの選択が必要です。

＊54: 再セットアップ用CD-ROMを使用するには、セレクションメニューまたは別売の拡張機器で選択可能なCD-ROM系機器が必要です。なお、再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されておりません。

＊57: メモリを拡張する場合は、標準搭載されている増設RAMボードを取り外す必要がある場合があります。

＊58: 接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のアプリケーションソフトウェア、OSなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。また、IEEE802.11b/g(2.4GHz)とIEEE802.11a(5GHz)は互換性がありません。

＊59: JEITAバッテリ動作時間測定法(Ver.1.0)に基づいて測定したバッテリ駆動時間です。
JEITAバッテリ動作時間測定法(Ver.1.0)Windows® XP Professionalにて測定。
駆動時間＝(測定法a+測定法b)/2
測定法a、b共通条件 <条件>
1)「電源オプションのプロパティ」・「アラーム」・「バッテリ低下アラーム」
・チェックボックスのチェックを外し、「バッテリ低下アラーム」を無効にする。
2)「電源オプションのプロパティ」・「アラーム」・「バッテリ切れアラーム」
・チェックボックスのチェックを外し、「バッテリ切れアラーム」を無効にする。

3) LCD輝度：測定法aに於いて20cdを下回らない値に設定。
測定法a、b共通：輝度8段階中下から1段目
4) 「画面のプロパティ」・「スクリーンセーバー」タブ内の「スクリーンセーバー(S)」
・「(なし)」に設定し、スクリーンセーバーを無効にする。
5) ワイヤレスクライアントマネージャが常駐している場合は終了する。
測定法a <条件>
1) 動画再生ソフト:Windows Media Playerにて連続再生。
2) 「電源オプションのプロパティ」・「電源設定」タブ内の「バッテリ使用」の項目を全て「なし」に設定。
3) 「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」・「音量」・「デバイスの音量」・「ミュート(M)」のチェックボックスにチェックを入れる。
測定法b <条件>
1) デスクトップ画面の表示を行った状態で放置。
2) 「電源オプションのプロパティ」・「電源設定」タブ内の「バッテリ使用」の項目の「ハードディスクの電源を切る(I)」を「3分後」に設定。他の項目は「なし」に設定。

*60：業界団体Wi-Fi Allianceの標準規格「Wi-Fi®」認定を取得した無線LANモジュールを内蔵しております。
*61：メディアの種類、フォーマット形式によっては記載の速度が出ない場合があります。
*62：バッテリ駆動時間や充電時間は、ご利用状況によって上記記載時間と異なる場合があります。バッテリパックは消耗品です。長時間駆動設定時、CPU動作性能はLOWモード。
*63：20GBがNTFS、残りもNTFSでフォーマット済み。また、最後の約3GBを再セットアップ領域として使用。ただしセレクションメニューで再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されておりません。
*65：書き込みツール「DigitalMedia/DLA」が添付されます。
*66：コピーコントロールCDなど一部の音楽CDの作成および再生ができない場合があります。
*67：バッファアンダーランエラー防止機能付き。
*70：回線状態によっては、通信速度が変わる場合があります。また、内蔵FAXモデムは一般電話回線のみに対応しています。内蔵FAXモデムは、海外でもご使用いただけます。利用可能な地域など詳細はhttp://nec8.com/products/versapro/modem.htmlにてご確認ください。
*74：Super AG®、Atheros XR®（eXtended Range）に対応。
*76：片面4.7GBのDVD-RAMの速度です。カートリッジタイプのDVD-RAMメディア(TYPE1)はご使用できません。また、プリインストールOSの場合、標準でサポートされるフォーマットはFAT32のみです。
*77：DVD-RはDVD for General Ver2.0/2.1に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
*78：DVD-RWは、DVD-RW Ver1.1/1.2に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
*84：無線LAN(5GHz)は、IEEE802.11a準拠(J52/W52/W53)です。J52/W52/W53は社団法人電子情報技術産業協会による表記です。詳細はhttp://nec8.com/products/wireless/index.htmlをご参照ください。無線LAN(5GHz)の使用は、電波法令により屋内に限定されます。
*85：光センサーマウスは、光沢のある白い面などの上で使用すると意図した通りに動作しない場合があります。その際は光学式マウスに対応したマウスパッドなどを別途ご用意ください。
*88：DVD-RAM Ver.2.0/2.1/2.2 3X-speed Revision 1.0/2.2 5X-speed Revision 2.0に準拠したディスクの書き込みに対応しています（DVD-RAM12倍速メディアの書き込みはサポートしておりません）。
*89：Platform 5アップデートエージェント機能用の領域として約400MBを使用。この領域は、WindowsやBIOSセットアップユーティリティには表示されません。
*90：DVDビデオ再生ツール「InterVideo® WinDVD™ 5」が添付されます。
*93：DVD-RAM12倍速メディアの読み込みはサポートしておりません。
*95：搭載メモリのうち512MBがデュアルチャネルに対応。
*96：搭載メモリのうち1GBがデュアルチャネルに対応。
*97：搭載メモリのうち2GBがデュアルチャネルに対応。

2.タイプVR(オールインワンノート)

型名*1			VY20F/RF-X VJ20F/RF-X	VY17F/RF-X VJ17F/RF-X	VY16M/RF-X VJ16M/RF-X
CPU *20			インテル® Pentium® M プロセッサー760(拡張版Intel SpeedStep®テクノロジー*14搭載)	インテル® Pentium® M プロセッサー740(拡張版Intel SpeedStep®テクノロジー*14搭載)	インテル® Celeron® M プロセッサー380
	クロック周波数		2GHz	1.73GHz	1.60GHz
キャッシュメモリ(CPU内蔵)	1次		インストラクション用32KB/データ用32KB		
	2次		2,048KB		1,024KB
システムバス			533MHz(メモリバス:533MHz)		400MHz(メモリバス:533MHz)
チップセット			ATI社製 Radeon® Xpress 200M/IXP 450		
セキュリティチップ *31			TPM v1.2準拠		
最大メモリ(メインメモリ)			2,304MB [SO-DIMMスロット×2]		
表示機能	表示素子*21		15型TFTカラー液晶(XGA)		
	LCDドット抜け*23		0.00034% 以下		
	グラフィックアクセラレータ		ATI社製 Radeon® Xpress 200Mに内蔵(デュアルディスプレイ機能*4、ハードウェアT&L機能*10、スムージング機能をサポート)		
		ビデオRAM	32/64/128MB(BIOSセットアップユーティリティにて変更可能、メインメモリを使用)*5		
	解像度・表示色*11(別売の外部ディスプレイ接続時*12)	800×600ドット(SVGA)	最大1,677万色*13(最大1,677万色)		
		1,024×768ドット(XGA)	最大1,677万色*13(最大1,677万色)		
		1,280×1,024ドット(SXGA)	最大1,677万色*13(最大1,677万色)※バーチャルスクリーン機能により実現		
		1,400×1,050ドット(SXGA+)	−		
		1,600×1,200ドット(UXGA)	最大1,677万色*13(最大1,677万色)※バーチャルスクリーン機能により実現		
		1,920×1,440ドット	最大1,677万色*13(最大1,677万色)※バーチャルスクリーン機能により実現		
サウンド機能	音源/サウンド機能		インテル® High Definition Audio 準拠(最大192kHz/24ビット*48 ステレオPCM同時録音再生機能、MIDI再生機能[OS標準])、3Dオーディオ(Direct Sound 3D対応)		
	スピーカ/スピーカ定格出力		内蔵ステレオスピーカ/1.5W+1.5W		
	サウンドチップ		RealTek社製 ALC262搭載		
通信機能	LAN		標準内蔵(1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T対応)		
記憶装置	FDD		標準内蔵、3.5型、3モード(720KB/1.2MB/1.44MB)対応*35		
入力装置	キーボード		本体との一体型、JIS標準配列(英数・かな)、Fnキー(ホットキー対応)、12ファンクションキー・Windowsキー・アプリケーションキー・Num Lockキー・右Altキー・右Ctrlキー付		
		ワンタッチスタートボタン	任意のアプリケーションを登録可能なワンタッチスタートボタンを2つ装備(出荷時はMicrosoft® Internet Explorer、Outlook Expressを登録済み)		
		ポインティングデバイス*19	スクロール機能付NXパッド標準装備		
インターフェイス	IEEE1394		−		
	USB		5(右側面×1*47、左側面×2、背面×2)、USB2.0対応		
	TV-OUT端子		TV-OUT端子(Sビデオ端子)×1		
	ディスプレイ		外部ディスプレイコネクタ(アナログRGB) ミニD-sub15ピン×1		
	シリアル		RS-232C D-sub9ピン×1、最高115.2kbps対応		
	パラレル		セントロニクス準拠 D-sub25ピン×1		
	PS/2		ミニDIN6ピン×1		
	通信関連		RJ45 LANコネクタ×1、RJ11モジュラコネクタ×1(FAXモデム選択時のみ)		
	サウンド関連	マイク入力	ステレオミニジャック×1 (マイク入力インピーダンス64kΩ、入力レベル5mVrms、バイアス電圧2.5V)		
		ヘッドフォン出力	ステレオミニジャック×1 (ヘッドフォン出力インピーダンス 16Ω-100Ω「推奨32Ω」、出力電力 5mW/32Ω)		
		ライン出力	ヘッドフォン出力と共用 (ライン出力レベル 1Vrms)		
PCカードスロット			Type I/II×2スロット(TypeIII×1としても使用可能)、PC Card Standard準拠、CardBus対応		
パワーマネジメント			自動または任意設定可能(CPU制御*20、HDD制御、モニタ節電機能、スタンバイ機能、ハイバネーション機能)		
電源			ニッケル水素バッテリ(DC9.6V、4000mAh)(バッテリパックは消耗品です)、リチウムイオンバッテリ(DC14.8V、4400mAh)(バッテリパックは消耗品です)またはAC100V±10%、50/60Hz(ACアダプタ経由)[ACアダプタ自体は、入力電圧AC240Vまでの安全規格を取得していますが、添付の電源コードはAC100V用(日本仕様)です。日本以外の国で使用する場合は、別途電源コードが必要です。]		
消費電力*29 (最大構成時)			約35W(最大約75W)	約35W(最大約75W)	約31W(最大約75W)
エネルギー消費効率(省エネ基準達成率)*3*29			S区分 0.00035 (AAA)	S区分 0.00040 (AAA)	S区分 0.00044 (AAA)

型名*1	VY20F/RF-X VJ20F/RF-X	VY17F/RF-X VJ17F/RF-X	VY16M/RF-X VJ16M/RF-X
電波障害対策	VCCI ClassB		
外形寸法(突起部含まず)	333(W)×277(D)×39.8(H)mm		
質量(標準バッテリ含む)*8	約3.6kg		
温湿度条件	5～35℃、20～80%(ただし結露しないこと)		
インストール可能OS *24 *27	Windows® XP Professional(SP2)、Windows® XP Home Edition(SP2)、 Windows® 2000 Professional(SP4)		
主な添付品	ACアダプタ、アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM、印刷マニュアル類、 保証書 他		

＊ 1：セレクションメニューを選択した構成での型名・型番については、本書の「型番を控える」をご覧ください。
＊ 3：エネルギー消費効率とは、省エネ法で定める測定方法により測定した消費電力を省エネ法で定める複合理論性能で除したものです。省エネ基準達成率の表示語Aは達成率100%以上200%未満、AAは達成率200%以上500%未満、AAAは達成率500%以上を示します。
＊ 4：本体の液晶ディスプレイと、外付けディスプレイで、異なるデスクトップ画面を表示する機能。
＊ 5：ビデオRAM128MBでご使用になる場合は、メインメモリを512MB以上に増設する必要があります。メインメモリ容量が1,024MB以上の場合には、ビデオRAMは128MB固定になります。
＊ 8：PCカードは未装着。
＊10：3D描画演算時に「変換処理(Transform)」「照明処理(Lighting)」をハードウェアで支援する機能。ソフトウェア(CPU)演算による描画に比べ、より高度な描画演算が可能になり、グラフィック描画品質が向上します。なお、本機能は対応するソフトウェア(DirectX、Direct3D対応)との組み合わせで有効な機能です。
＊11：表示素子(本体液晶ディスプレイ)より低い解像度を選択した場合、拡大表示機能により、液晶画面全体に表示可能。拡大表示によって文字などの線の太さが不均一になることがあります。
＊12：本機の持つ解像度及び色数の能力であり、接続するディスプレイ対応解像度、リフレッシュレートによっては表示できない場合があります。本体の液晶ディスプレイと外付けディスプレイの同画面表示可能。ただし、拡大表示機能を使用しない状態では、外付けディスプレイ全体には表示されない場合があります。
＊13：1,677万色表示は、グラフィックアクセラレータのディザリング機能により実現。
＊14：プリインストールOS以外のOS環境では、拡張版Intel SpeedStep® 機能が使用できない場合があります。
＊19：PS/2マウス接続時は、NXパッドの機能は自動的に無効化されます。
＊20：使用環境や負荷によりCPU動作スピードをダイナミックに変化させる制御を搭載しています。
＊21：液晶ディスプレイは非常に高精度な技術で作られていますが、画面の一部にドット抜け(ごくわずかな黒い点や、常時点灯する赤、青、緑の点)が見えることがあります。また、見る角度によっては色むらや明るさのむらが見えることがあります。これらは、液晶ディスプレイの特性によるものであり、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。なお、ドット抜けについては＊23もご覧ください。
＊23：ドット抜け割合の基準値はISO13406-2の基準に従って、副画素(サブピクセル)単位で計算しています。詳細は http://nec8.com/products/pc/lcddot.html をご参照ください。
＊24：インストール可能OS用ドライバは本体に添付しておりません。また、VersaPro Jではプリインストールされている OS以外は使用できません。「http://nec8.com/」の上段ボタン中「サポート情報」の「ダウンロード・OS情報・注意事項」→「ダウンロード」の「ビジネスPC(Mate&VersaPro)/プリンタ(MultiWriter&MultiImpact)/PC周辺機器」の「インストール可能OS用ドライバ(サポートOS用ドライバ)」の「VersaPro」に順次掲載いたします。なお、インストール可能OSをご利用の際、「インストール/添付アプリケーション」がご利用いただけない等、いくつか制限事項があります。必ずご購入前に「インストール可能OSをご利用になる前に必ずお読みください」をご覧になり、制限事項を確認してください。
＊27：「SP」は「Service Pack」の略称です。インストール可能OS用ドライバは( )内のService Packのバージョンにてインストール手順の確認をおこなっているものです。インストール可能OSを使用する場合は( )内のService Packを適用してご使用ください。別売のOSとService Packは別途入手が必要となります。
＊29：OSはWindows® XP Professional、メモリ256MB（エネルギー消費効率はメモリ2,304MB)、ハードディスク40GB、CD-ROMありの構成で測定。
＊31：プリインストールのWindows® XP Professional以外では使用できません。
＊35：1.2MBへの対応はドライバのセットアップが必要(標準添付)。1.44MB以外(720KB/1.2MB)のフォーマット不可。
＊47：USBポートのうち、右側面1ポートは挿抜耐性を強化したコネクタを採用しております。
＊48：使用出来る量子化ビットやサンプリングレートは、OSや使用するアプリケーションなどのソフトウェアによって異なります。

◆セレクションメニュー＊51

型名＊1			VY20F/RF-X VJ20F/RF-X	VY17F/RF-X VJ17F/RF-X	VY16M/RF-X VJ16M/RF-X
再セットアップ用データ＊52	HDD		再セットアップ用バックアップイメージをHDDに格納＊53		
	CD-ROM		再セットアップ用CD-ROM＊54添付		
メモリ＊57	256MB		ECC無しDDR2-SDRAM、PC2-4200、オンボード256MB		
	512MB		ECC無しDDR2-SDRAM、PC2-4200、オンボード256MB+256MB SO-DIMM×1＊95		
	768MB		ECC無しDDR2-SDRAM、PC2-4200、オンボード256MB+512MB SO-DIMM×1＊95		
	1,280MB		ECC無しDDR2-SDRAM、PC2-4200、オンボード256MB+512MB SO-DIMM×2＊96		
	1,280MB		ECC無しDDR2-SDRAM、PC2-4200、オンボード256MB+1,024MB SO-DIMM×1＊95		
	2,304MB		ECC無しDDR2-SDRAM、PC2-4200、オンボード256MB+1,024MB SO-DIMM×2＊97		
通信機能	FAXモデム＊70	モデム	モデム内蔵(データ転送速度 最大56kbps(V.90)エラー訂正V.42/MNP4 データ圧縮V.42bis/MNP5)		
		FAX	内蔵(データ転送速度 最大14.4kbps (V.17)FAX制御クラス1)		
	無線LAN (IEEE802.11a/b/g)＊60＊84		IEEE802.11a/b/g準拠＊58＊74、WPA2対応、WEP対応〔暗号鍵長64/128/152ビット(ユーザ設定鍵長40/104/128ビット)〕		
キーボード			87キー(タイプA)または90キー(タイプB)		
マウス	USBマウス(ボール)		USBマウス(ボール式、スクロールホイール付き)(ケーブル長:約80cm)		
	USBマウス(光センサー)		USBマウス(光センサー式＊85、スクロールホイール付き)(ケーブル長:約80cm)		
ハードディスク	40GB		約40GB＊63＊89、Serial ATA、5,400rpm、SMART機能対応		
	80GB		約80GB＊63＊89、Serial ATA、5,400rpm、SMART機能対応		
	100GB		約100GB＊63＊89、Serial ATA、5,400rpm、SMART機能対応		
CD-ROM系＊61＊66	CD-ROM		内蔵、最大24倍速(最内周10倍速、最外周24倍速)		
	CD-R/RW with DVD-ROM＊65＊67＊90		内蔵、CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R書き込み:最大24倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大4倍速、DVD+R(1層)読み込み:最大4倍速、DVD-RAM読み込み:最大2倍速＊76＊93		
	DVDスーパーマルチドライブ＊65＊67＊90		内蔵、CD-ROM読み込み:最大24倍速、CD-R書き込み:最大24倍速、CD-RW書き換え:最大10倍速、DVD-ROM読み込み:最大8倍速、DVD-R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD-R(1層)書き込み:最大8倍速＊77、DVD-R(2層)読み込み:最大4倍速、DVD-R(2層)書き込み:最大4倍速、DVD+R(1層)読み込み:最大8倍速、DVD+R(1層)書き込み:最大8倍速、DVD+R(2層)読み込み:最大6倍速、DVD+R(2層)書き込み:最大4倍速、DVD-RW書き換え:最大6倍速＊78、DVD+RW書き換え:最大8倍速、DVD-RAM読み込み:最大5倍速＊76、DVD-RAM書き換え:最大5倍速＊76＊88		
USBメモリ			256MB(USB2.0対応)		
セキュリティ機能	指紋センサ＊55＊80		ライン型。OSログオン時、スクリーンセーバ解除時などに指紋による認証が可能。		
バッテリ＊62	ニッケル水素バッテリ	駆動時間(JEITA＊59準拠)	約1.5～1.6時間(約1.5時間)		約1.0～1.1時間(約1.0時間)
		充電時間(ON時/OFF時)	約2.2時間/約2.2時間		
	リチウムイオンバッテリ	駆動時間(JEITA＊59準拠)	約2.8～3.0時間(約2.9時間)		約1.8～2.0時間(約1.9時間)
		充電時間(ON時/OFF時)	約2.8時間/約2.7時間		

＊51:セレクションメニュー中の各オプションは単体販売を行っておりません。

＊52:セレクションによっては再セットアップ用CD-ROMは添付されておりません。HDDに格納してある再セットアップ用バックアップイメージ破損や誤って消去した場合などの媒体購入方法はhttp://nx-media.ssnet.co.jp/をご参照ください。

＊53:HDD内の約3GBを再セットアップ領域として使用。これらの「再セットアップ用バックアップイメージ」をCD-R媒体に書き出す場合には、ご購入時にセレクションメニューでCD-R/RW with DVD-ROMまたはDVDスーパーマルチドライブの選択が必要です。

＊54:再セットアップ用CD-ROMを使用するには、セレクションメニューまたは別売の拡張機器で選択可能なCD-ROM系機器が必要です。なお、再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されておりません。

＊55:内蔵指紋センサ(ライン型)はプリインストールのWindows® XP Professional以外ではご利用になれません。

＊57:メモリを拡張する場合は、標準搭載されている増設RAMボードを取り外す必要がある場合があります。

＊58:接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のアプリケーションソフトウェア、OSなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。また、IEEE802.11b/g(2.4GHz)とIEEE802.11a(5GHz)は互換性がありません。

＊59:JEITA バッテリ動作時間測定法(Ver.1.0)に基づいて測定したバッテリ駆動時間です。
JEITA バッテリ動作時間測定法(Ver.1.0)

Windows® XP Professional にて測定。
駆動時間＝(測定法 a+ 測定法 b)/2
測定法 a、b 共通条件 ＜条件＞
1)「電源オプションのプロパティ」・「アラーム」・「バッテリ低下アラーム」
・チェックボックスのチェックを外し、「バッテリ低下アラーム」を無効にする。
2)「電源オプションのプロパティ」・「アラーム」・「バッテリ切れアラーム」
・チェックボックスのチェックを外し、「バッテリ切れアラーム」を無効にする。
3) LCD 輝度:測定法 a に於いて 20cd を下回らない値に設定。
測定法 a、b 共通:輝度 8 段階中下から 1 段目
4)「画面のプロパティ」・「スクリーンセーバー」タブ内の「スクリーンセーバー(S)」・「(なし)」に設定し、スクリーンセーバーを無効にする。
5) ワイヤレスクライアントマネージャが常駐している場合は終了する。
測定法 a ＜条件＞
1) 動画再生ソフト:Windows Media Player にて連続再生。
2)「電源オプションのプロパティ」・「電源設定」タブ内の「バッテリ使用」の項目を全て「なし」に設定。
3)「サウンドとオーディオデバイスのプロパティ」・「音量」・「デバイスの音量」・「ミュート(M)」のチェックボックスにチェックを入れる。
測定法 b ＜条件＞
1) デスクトップ画面の表示を行った状態で放置。
2)「電源オプションのプロパティ」・「電源設定」タブ内の「バッテリ使用」の項目の「ハードディスクの電源を切る(I)」を「3 分後」に設定。他の項目は「なし」に設定。

＊60:業界団体 Wi-Fi Alliance の標準規格「Wi-Fi®」認定を取得した無線 LAN モジュールを内蔵しております。
＊61:メディアの種類、フォーマット形式によっては記載の速度が出ない場合があります。
＊62:バッテリ駆動時間や充電時間は、ご利用状況によって上記記載時間と異なる場合があります。バッテリパックは消耗品です。長時間駆動設定時、CPU 動作性能は LOW モード。(インテル® Celeron® M プロセッサを除く。)
＊63:20GB が NTFS、残りも NTFS でフォーマット済み。また、最後の約 3GB を再セットアップ領域として使用。ただしセレクションメニューで再セットアップ用CD-ROM添付を選択した場合、HDDに再セットアップ用バックアップイメージは格納されておりません。
＊65:書き込みツール「DigitalMedia/DLA」が添付されます。
＊66:コピーコントロール CD など一部の音楽 CD の作成および再生ができない場合があります。
＊67:バッファアンダーランエラー防止機能付き。
＊70:回線状態によっては、通信速度が変わる場合があります。また、内蔵FAXモデムは一般電話回線のみに対応しています。内蔵 FAX モデムは、海外でもご使用いただけます。利用可能な地域など詳細は http://nec8.com/products/versapro/modem.html にてご確認ください。
＊74:Super AG®、Atheros XR® (eXtended Range) に対応。
＊76:片面 4.7GB の DVD-RAM の速度です。カートリッジタイプの DVD-RAM メディア(TYPE1)はご使用できません。また、プリインストール OS の場合、標準でサポートされるフォーマットは FAT32 のみです。
＊77:DVD-R は DVD for General Ver2.0/2.1 に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
＊78:DVD-RW は、DVD-RW Ver1.1/1.2 に準拠したディスクの書き込みに対応しています。
＊80:内蔵指紋センサ(ライン型)と USB ロック機能は同時使用できません。
＊84:無線 LAN(5GHz)は、IEEE802.11a 準拠(J52/W52/W53)です。J52/W52/W53 は社団法人電子情報技術産業協会による表記です。詳細は http://nec8.com/products/wireless/index.html をご参照ください。無線 LAN(5GHz)の使用は、電波法令により屋内に限定されます。
＊85:光センサーマウスは、光沢のある白い面などの上で使用すると意図した通りに動作しない場合があります。その際は光学式マウスに対応したマウスパッドなどを別途ご用意ください。
＊88:DVD-RAM Ver.2.0/2.1/2.2 3X-speed Revision 1.0/2.2 5X-speed Revision 2.0 に準拠したディスクの書き込みに対応しています (DVD-RAM12 倍速メディアの書き込みはサポートしておりません)。
＊89:Platform 5 アップデートエージェント機能用の領域として約 400MB を使用。この領域は、Windows や BIOS セットアップユーティリティには表示されません。
＊90:DVD ビデオ再生ツール「InterVideo® WinDVD™ 5」が添付されます。
＊93:DVD-RAM12 倍速メディアの読み込みはサポートしておりません。
＊95:搭載メモリのうち 512MB がデュアルチャネルに対応。
＊96:搭載メモリのうち 1GB がデュアルチャネルに対応。
＊97:搭載メモリのうち 2GB がデュアルチャネルに対応。

内蔵LAN(ギガビットイーサネットLAN)

●規格概要

項目	規格概要
準拠規格	ISO 8802-3、IEEE802.3、IEEE802.3u、IEEE802.3ab
ネットワーク形態	スター型ネットワーク
伝送速度	1000BASE-T 使用時:1000Mbps
	100BASE-TX 使用時:100Mbps
	10BASE-T 使用時:10Mbps
伝送路	1000BASE-T 使用時:UTP カテゴリ 5e 以上
	100BASE-TX 使用時:UTP カテゴリ 5
	10BASE-T 使用時:UTP カテゴリ 3 または 5
信号伝送方式	ベースバンド伝送方式
ステーション台数	最大 1024 台/ネットワーク
ステーション間距離/ ネットワーク経路長※	1000BASE-T:最大約 200m /ステーション間 100BASE-TX:最大約 200m /ステーション間 10BASE-T:最大約 500m /ステーション間 最大 100m /セグメント
メディアアクセス制御方式	CSMA/CD 方式

※:リピータの台数など、条件によって異なります。

無線LAN（IEEE802.11a/b/g）

無線LAN（IEEE802.11a/b/g）は、2.4GHz無線LAN（IEEE802.11b/g）規格と5GHz無線LAN（IEEE802.11a）規格を切り替えて通信することができる無線LANです。それぞれの無線LAN規格の概要は以下の通りです。
無線LAN（IEEE802.11a/b/g）は、Atheros Communications社が開発したワイヤレス通信の高速化技術「Super AG™」※4および長距離化技術「Atheros XR™（eXtended Range）」※5に対応しています。

●2.4GHz無線LAN（IEEE802.11b/g）規格概要

項目	規格概要
準拠規格	IEEE802.11g、IEEE802.11b ARIB STD-T66 ※6
通信速度	IEEE802.11g：54/48/36/24/18/12/6（Mbps）※1 IEEE802.11b：11/5.5/2/1（Mbps）※1
変調方式	OFDM方式（54/48/36/24/18/12/6Mbps） DS-SS方式（11/5.5/2/1Mbps時）
無線チャンネル	1～13ch（アクティブスキャン）
周波数帯域	2.4GHz帯域（2.4～2.4835GHz）
セキュリティ	WPA（TKIP/AES） WPA2（AES） WEP（鍵長64bit/128bit/152bit ※2） IEEE802.1X

●5GHz無線LAN（IEEE802.11a）規格概要

項目	規格概要
準拠規格	IEEE802.11a ARIB STD-T71 ※6
通信速度	54/48/36/24/18/12/6（Mbps）※1
変調方式	OFDM方式
無線チャンネル	36ch、40ch、44ch、48ch（アクティブスキャン） 34ch、38ch、42ch、46ch、52ch、56ch、60ch、64ch（パッシブスキャン）※7
周波数帯域	5GHz帯域（5.15～5.35GHz）※3
セキュリティ	WPA（TKIP/AES） WPA2（AES） WEP（鍵長64bit/128bit/152bit ※2） IEEE802.1X

※1：各規格による速度（理論値）であり、実行速度とは異なります。接続対象機器、電波環境、周囲の障害物、設置環境、使用状況、ご使用のOS、アプリケーション、ソフトウェアなどによっても通信速度、通信距離に影響する場合があります。
※2：設定可能な鍵長は、それぞれ40bit、104bit、128bitです。
※3：5GHz無線LANの使用は、電波法令により屋内に限定されます。
※4：Super AG™機能を利用するには、接続先の無線LAN機器もSuper AG™に対応している必要があります。
※5：Atheros XR™機能を使用するには、接続先の無線LAN機器もAtheros XR™に対応している必要があります。
※6：ARIBについての表記の説明は、「「無線LAN（IEEE802.11a/b/g）」について」－ご注意 をご覧ください。
※7：パッシブスキャンのチャンネルは接続に時間がかかる場合はあります。

FAXモデム

項目		規格
適用回線		加入電話回線
ダイヤル方式		パルスダイヤル（10/20PPS） トーンダイヤル（DTMF）
FAX 機能	交信可能ファクシミリ装置	ITU-T G3 ファクシミリ装置
	同期方式	半 2 重調歩同期方式
	通信規格＊1	ITU-T V.17：14,400/12,000/9,600/7,200bps V.29：9,600/7,200bps V.27ter：4,800/2,400bps V.21ch2：300bps
	送信レベル	－ 11 ～－ 15dBm（出荷時－ 15dBm）
	受信レベル	－ 10 ～－ 40dBm
	制御コマンド	EIA-578 拡張 AT コマンド（CLASS1）
データモデム機能	同期方式	全 2 重調歩同期方式
	通信規格	ITU-T V.90：56,000 ～ 28,000bps ＊2 V.34：33,600 ～ 2,400bps V.32bis：14,400 ～ 4,800bps V.32：9,000 ～ 4,800bps V.22bis：2,400/1,200bps V.22：1,200/1,600bps V.21：300bps
	エラー訂正	ITU-T V.42（LAPM）MNP class4
	データ圧縮	ITU-T V.42bis MNP class5
	送信レベル	－ 11 ～－ 15dBm（出荷時－ 15dBm）
	受信レベル	－ 10 ～－ 40dBm
	制御コマンド	HayesAT コマンド準拠＊3

＊１ ：回線状態によって、通信速度が変わる場合があります。
＊２ ：送信時は 33,600 ～ 2,400bps になります。
＊３ ：AT コマンドについては、『AT コマンド一覧』をご覧ください。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
(2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、またはNEC 121コンタクトセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本はお取り替えいたします。
(4) 当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
(5) 本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
(6) 海外における保守・修理対応は、海外保証サービス[NEC UltraCare^{SM} International Service]対象機種に限り、当社の定める地域・サービス拠点にてハードウェアの保守サービスを行います。
サービスの詳細や対象機種については、以下のホームページをご覧ください。
http://www.ultracare.com
(7) 本機の内蔵ハードディスクにインストールされているWindows XP、および本機に添付のCD-ROMは、本機のみでご使用ください。
(8) ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
(9) ハードウェアの保守情報をセーブしています。
(10) この製品は、著作権保護技術を採用しており、米国と日本の特許技術と知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用には、マクロヴィジョン社の許可が必要です。またその使用は、マクロヴィジョン社の特別な許可がない限り、家庭での使用とその他一部の観賞用の使用に制限されています。この製品を分解したり改造することは禁じられています。
(11) 本書に記載しているWebサイトは、2006年4月現在のものです。

初版 2006年 5月

853-810602-224-A
Printed in Japan

このマニュアルは再生紙(古紙率100%)を使用しています。

810602224A